

◆ 鹿児島県の魅力的な企業で生き生きと働く方々の活躍の様子をご紹介します。



誰よりも元気なあいさつを欠かさず、後輩への声掛けやサポートも行う坂口さん。「仕事を通して人としても成長していきたい」と話す。



出来上がった製品を検品する印刷課で、きびきびと業務をこなしていく坂口さん。



雇用後も定期的に上司が面談を行うなど、フォローを行っている。

障害があっても自分らしく働く。個人の能力を生かして誰もが欠かせない存在に

ひとが
輝く
鹿児島

鹿児島で生き生きと働こう!

株式会社
しままプリントラボ

鹿児島ラボ生産部
鹿児島印刷課

さかぐち こうだい
坂口 広大 さん(28)

いちき串木野市出身、「障害者就労支援センター」からの紹介で2017年に入社。軽度な精神障害があるながらも、会社の中核を担う部署で欠かせない役割を担っている。

周囲のフォローがあるから
苦手な作業もやり遂げられる

インターネットで写真プリントなどのサービスを提供する、しままプリントラボ。障害のある方の雇用を積極的に行っており、現在6人の方が在籍しています。そのうちの1人である坂口広大さんは、精神障害がありながらも、真面目で社交的な性格を生かして、他のチームスタッフと連携し、生産オペレーションに欠かせない存在として活躍しています。

坂口さんの主な業務は、製本や検品作業。正確さや丁寧さに加え、集中力や持久力も求められる作業ですが、幼少期から興味があった写真に関する仕事に携わっているという喜びが、仕事の原動力になっていると言います。

苦手な作業も、同僚や先輩たちの協力を得ながらやり遂げていく中で、「徐々に達成感を味わえるようになっていった」と話す坂口さん。「周りのスタッフのフォローがあつてこそ」と感謝の気持ちも忘れません。

自分の力を発揮できる仕事で
長く働きたい職場環境を

同社は、学校や就労支援施設と連携して、積極的に障害がある方の職場実習の受け入れを行っています。雇用するにあたっては、実習中の勤務の様子や、コミュニケーション状況などを見極めながら、その人に合った部署への配置を行っています。また、障害者就労支援ネットワーク会議や障害者就職面接会に参加して関係機関との情報共有を行い、障害者雇用の知識を深めるなど、障害のある方が長く働きたい環境の整備に努めています。

「ここでは何より自分のカラーが出せるのがうれしい」と話す坂口さんの言葉からは、社員の個性を尊重し、共に歩もうとする会社への信頼感が伺えました。



株式会社
しままプリントラボ
日置市伊集院町清藤2110-29
☎099-272-0703
<http://www.shimamapri.jp/>

